

三上川岩を流る月海

よるおのりろききいれ

は二首ハ源氏鑑少玉(下)下当はるる
秀衡の館へ入るをある所の方ハ源の系
多にめとる源のい一歌とを源氏鑑七と
是と見へる

よりてこんよりてこそやとおのり
ゆりきとるこそとれ

稀侶旅明掉輕舟穩波渺々遊白鷗
絲峯映流万般興客賦一詩行亦歸

け家と詩ハ新光羽鳥(下)此思ふての比
山名一呼此休よて下り口号々と羽源
記と見へる

一程源

古陽村の向より多程詳なるを五按
下と見へる

一山入進考新記大全二八樓右部は奥州

夷のい一時は所は甲冑を飾る金胡歌

源氏の形をいあるとここに初を立て程

一甲源と稱号とるなり